

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【公表番号】特表 2016-506941 (P2016-506941A)

【公表日】平成 28 年 3 月 7 日 (2016.3.7)

【年通号数】公開・登録公報 2016-014

【出願番号】特願 2015-555630 (P2015-555630)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/20

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医薬組成物であって、

a) 抗炎症活性を有する治療化合物と、

b) 約 30 重量% ~ 約 95 重量% の薬学的に許容可能なアジュバントであって、前記薬学的に許容可能なアジュバントが少なくとも約 30 重量% のハードファットを含む、約 30 重量% ~ 約 95 重量% の薬学的に許容可能なアジュバントと、
を含み、

約 15 以下の温度で固体となるように製剤化されており、且つ 25 以上の融点を有する、

医薬組成物。

【請求項 2】

前記治療化合物は、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)、PPAR アゴニスト、核受容体結合剤、抗高脂血症剤、またはそれらの任意の組み合わせを含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記ハードファットはトリグリセリドを含む、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記トリグリセリドは、 $C_{41} \sim C_{45}$ の融点を有する飽和 $C_{10} \sim C_{18}$ トリグリセリドの混合物を含む、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記ハードファットは、約 30 重量%～約 50 重量%または約 35 重量%～約 45 重量%の量である、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記薬学的に許容可能なアジュバントは、モノグリセリドを含む液体油脂をさらに含み、前記液体油脂は少なくとも 15 重量%の量である、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記モノグリセリドはグリセリルモノリノレアートを含む、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記液体油脂は、ジグリセリド、トリグリセリド、またはそれらの任意の組み合わせをさらに含む、請求項 6 または 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記液体油脂は少なくとも 20 重量%の量である、請求項 6～8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記液体油脂は約 15 重量%～約 25 重量%の量である、請求項 6～8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

薬学的に許容可能な溶媒をさらに含み、前記薬学的に許容可能な溶媒は約 1 重量%～約 50 重量%の量である、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記薬学的に許容可能な溶媒は、薬学的に許容可能なアルコール、薬学的に許容可能なポリプロピレングリコール (PPG) ポリマー、薬学的に許容可能なポリエチレングリコール (PEG) ポリマー、またはそれらの任意の組み合わせを含む、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記 PEG ポリマーは、液体の PEG ポリマーである、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記薬学的に許容可能な PEG ポリマーは約 2,000 g/mol 未満である、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記液体の PEG ポリマーは、PEG 100、PEG 200、PEG 300、PEG 400、PEG 500、PEG 600、PEG 700、PEG 800、PEG 900、PEG 1000、またはそれらの組み合わせである、請求項 13 または 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記 PPG ポリマーは、液体の PPG ポリマーである、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

前記薬学的に許容可能な PPG ポリマーは約 2,000 g/mol 未満である、請求項 16 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記液体の PPG ポリマーは、PPG 100、PPG 200、PPG 300、PPG 4

00、PPG500、PPG600、PPG700、PPG800、PPG900、PPG1000、またはそれらの組み合わせである、請求項16または17に記載の医薬組成物。

【請求項19】

前記薬学的に許容可能な溶媒は、約4重量%～約30重量%、約6重量%～約20重量%、約8重量%～約15重量%、約7重量%～約13重量%、約8重量%～約12重量%、または約9重量%～約11重量%の量である、請求項11～18のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項20】

慢性炎症の治療のための請求項1～19のいずれか1項に記載の医薬組成物の使用。

【請求項21】

前記慢性炎症が、組織炎症、全身性炎症、自己免疫疾患または非自己免疫疾患である、請求項20に記載の使用。

【請求項22】

前記慢性炎症が、関節炎、筋疾患、血管炎、皮膚疾患、胃腸障害、心臓血管疾患、癌、薬理学的誘導炎症、感染症、組織もしくは器官の損傷、移植拒絶反応、移植片対宿主病、Th1媒介炎症性疾患、または慢性神経性炎症に付随する、請求項20に記載の使用。